

## 製品安全データシート



## 1, 化学物質等及び会社情報

会社名 純正化学株式会社  
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16  
電話番号 03-3270-5426 FAX 番号 03-3270-5418  
担当部門 試薬部 担当者 菅野英奇  
住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1-6  
緊急連絡電話番号 0489-86-6161 FAX 番号 0489-89-2787  
作成日 2001年3月22日  
整理番号 30280  
製品名 (一級) コーン油 Corn oil

## 2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物  
化学名：コーン油  
含有量：脂肪酸の混合物  
CAS No：8001-30-7  
化審法：天然物  
安衛法：天然物

## 3, 危険有害性の要約

NFPA 格付け (スケール 0~4) (NFPA：米国防火協会)

人体 = 0、 火災 = 1、 反応性 = 0

## 有害性

皮膚に触れた場合...

1. 皮膚を刺激する (かぶれる、ただれる、発赤する)。

眼に入った場合...

1. 粘膜を刺激する。

燃焼生成ガス...

1. 一酸化炭素 (許容濃度：50ppm)。
2. 二酸化炭素。

## 4, 応急措置

眼に入った場合

1. 大量の水で最低 15 分間洗浄する。
2. 洗眼は指で瞼をひろげ、大量の水で十分に洗浄する。

皮膚に付着した場合

1. 大量の水で最低 15 分間洗浄し、汚染した衣服や靴を脱がせる。

吸入した場合

1. 新鮮な空気にあてる。

2. 呼吸停止の場合は、人工呼吸を行う。
3. 呼吸困難の場合は、酸素吸入を行う。

飲み込んだ場合

1. 水で口をすすぐ。

---

5, 火災時の措置

消火方法

消火要領...

1. 二酸化炭素、粉末消火剤、アルコールまたはポリマー泡消火剤。
2. 小規模な火災は噴霧注水も有効。

消防活動装備...

1. 防火服。
2. 耐熱服。
3. 空気呼吸器。
4. 循環式酸素呼吸器。
5. ゴム手袋。
6. ゴム長靴。

消火剤

1. 粉末。
2. 二酸化炭素。
3. 泡。
4. 水噴霧。

---

6, 漏出時の措置

1. ガスマスク、化学用安全ゴーグル、ゴム長靴および厚手ゴム手袋を着用する。
2. 砂かパーミキュライトに吸い取り、密閉容器内に入れ、廃棄するまで保管。
3. 当該物質を完全に移した後、漏出区域を換気し、洗う。

---

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 眼を刺激する。
2. 皮膚を刺激する。
3. 局所排気を行う（換気を良くする）。
4. 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。
5. 取扱後に十分に洗浄する。
6. 空気および光に敏感。

保管

1. 酸化物との接触禁止。

---

8, 暴露防止及び保護措置

安全管理上の留意事項...

1. 火気厳禁。

設備対策

貯蔵上の注意...

1. 酸化物との接触禁止。

保護具

1. 安全ゴーグル。
2. 洗眼器。
3. 保護手袋。

9, 物理的及び化学的性質

外観：淡黄色～黄色の透明な油液で特異臭がある。

融点：-18～-10

比重：0.914～0.921 (20/20 )

溶解度：水に不溶。

10, 安定性及び反応性

引火点...

321

加熱・燃焼...

危険性有

1. 燃焼により有毒ガスを発生する。
2. 過熱により容器が爆発する。
3. 過熱により可燃性ガスが発生する。

水との接触...

危険性無

空気との接触...

危険性無

混触等...

危険性有

1. 可燃物にしみこんだものは自然発火することがある。
2. 酸化剤、強酸類、ハロゲン等との混色により発火することがある。

11, 有害性情報

皮膚に触れた場合...

1. 皮膚を刺激する（かぶれる、ただれる、発赤する）。

眼に入った場合...

1. 粘膜を刺激する。

刺激性

ヒト 300 mg /3D-I ; MILD (皮膚)

12, 環境影響情報

知見なし

13, 廃棄上の注意

1. アフタバナーおよびスクラッパー付きインシナレーターの中で焼却できる。

14, 輸送上の注意

国連番号：非設定

15, 適用法令

消防法：危険物第 4 類動植物油類（非水溶性液体）危険等級

海洋汚染防止法：施行令別表第 1 有害液体物質（D 類）

---

16, その他の情報

参考文献

化学品安全管理データブック（化学工業日報社）

---

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途，用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。